

# 大けやきの 瓦版

第7号2版 2024年5月8日

発行者  入間小のケヤキを  
未来につなぐ会  
電話 050-3635-1920  
メール keyakinomirai1920@gmail.com

大正9年、4人の子ども達が小さなケヤキを見つけて植えました。入間小の校庭に根付いて102年、狭山市の景観地50にも選定された入曽のシンボルです。閉校後、市の計画で伐採の危機にありましたが、全国から想いが集まり、新しい商業施設と共存できるようになりました。これからもこの大けやきが入曽の歴史を刻んでいけるよう、いつまでも見守ってください。

さらに詳しい情報は、入間小のケヤキを未来につなぐ会の公式サイト <https://keyakinomirai.com> へ SNS は「@tsubuyakukeyaki」(X (旧 Twitter), Instagram) または「けやきのみらい」(Facebook)

活動費のご支援は飯能信金入曽支店普通 2108903 または公式サイトオンライン寄付から

## イオン工事始まる テナント公表は開業直前

2月14日、狭山市からイオンリテール(株)への敷地引き渡しが行われ、市が誘致した複合商業施設「そよら」が着工しました。開業は来年3月末ごろの計画で、今後、大店立地法に基づく説明会や植樹祭が行われる見通しです。

現在公表されている資料では、建物は地上2階建て延床面積10,182平方

米で、そよら武蔵狭山の9割強。食料品や生活用品を扱うイオンスタイルが中核になります。イオンによると、その他の飲食・物販、サービス業種のテナント各社とはやり取りしている最中で、開業1~2か月前に公表予定としています。

工事中、重機の踏圧害からケヤキの根を保護するため、イオンは建築関係者にケヤキの取り扱いの周知を徹底しているとのこと。

また、イオンの着工に先立ち敷地の一角には飯能信金入曽支店が移転し、2月5日に営業を開始しました。

### 伐根猶予、自動更新

当初の公募条件のケヤキ伐根を猶予している市とイオンの覚書について、1年間の有効期間が2月7日に自動的に更新されたことが市への問い合わせで明らかになりました。イオンも伐採伐根の予定はないとしています。



(上) 溝が掘られ、基礎工事が進む入間小跡地(4月20日撮影)。(下) ケヤキの根回りを保護する現場掲示

小学5年生の放課後での出来事。あなたの隣に砂場があり、手前に跳び箱が並んでいましたね。自主練中、自分の実力より高い跳び箱を飛びたくて思い切り跳んだら、顔から砂場に突っ込んでしまい泣きそうになった私。あなたにもたれかかって、泣くのを我慢しながら砂を払っていた時、秋風が葉っぱをそよそよと揺らし、「大丈夫?」、「ドンマイ!」という声が聞こえたようでした。あれから半世紀が経ちましたが、あなたを取り巻く環境は、大きく変わっていきそうです。少し心配ですが、いつまでも元気でいてほしいです。(麻生れいみ)

## みんなのけやきノート チャレンジを見守る

昔ばなしや大けやきを想う人の気持ちをみんなでつづるコーナーです。出身校や地域は問いません。投稿文(匿名可)は200字程度にまとめ、お名前・連絡先を添えて、会へ郵送(狭山市水野147-117)またはメールにてお寄せください。

**けやきの茶話会 隔月で開催中**  
入間小のケヤキを未来につなぐ会は、みなさんとの意見交換や大けやきを活用した地域づくりを構想するため、入曽地域交流センターで「けやきの茶話会」を開催しています。入曽地区ゆかりのお茶や菓子を味わいながら、大けやきの思い出や今後の入曽に期待することなど幅広く話しています。原則、奇数月の第2日曜14時から16時



狭山茶を飲みながら、入曽の特色について語る参加者(1月7日開催分)

途中出入自由。参加費は不要。詳細はWEBサイトか会の連絡先までお問い合わせください。散歩や買い物ついでに、ぜひ気軽にお立ち寄りください。

# 後継木の歩み

大げやき伐根を前提として始まった狭山市の後継木育成事業。その後、イオンと大げやきの共存が決まってからも大事に育てられています。管理している智光山公園都市緑化植物園(狭山市柏原)と市・都市建設部市街地整備課に取材しました。

育成事業の開始は 2021 年度。まず 6 月に枝を採り 100 本を挿し

## 出番うかがう若木 100 本

木にしましたが、5 週間後にはすべて枯れたことが確認されました。園によると、挿し木は難易度が高いが条件次第。(大げやきの)クローンだが、短命という考え方もある、と教えてくれました。

次に試みたのが種を採って育てる方法。9 月と 11 月の 2 度、木の下の方 10m 以内に落ちている実付きの枝を採取し、得られた種は 1300 粒余り。保管



バックヤードに並ぶ後継木 (市提供)

用に一部を残し、種を撒くと翌年 1 月末～3 月に発芽しました。発芽率はおおよそ 3 割でした。その後鉢に移し剪定などの手入れを進め、今は 100 本程度が植樹や配布に向け管理されています。植物園のバックヤードではそろった姿の後継木が並んでいます。

市は今年度、市政 70 周年事業や入曾のまちびらきなどイベントが控えています。「後継木を具体的にどう活用するかは今年度中にわかる」と市街地整備課の職員。後継木が入曾や狭山の節目にどう貢献してくれるのか、注目です。

※植物園で後継木は非公開です。

#つぶやく  
げやき

@tsubuyakukeyaki

初夏の爽やかな風とともに、ツバメさんが帰ってきました。私の周りをチュピチュピ♪と飛び回り、変わり続ける入曾のまちを隈なく見て廻ります。(4 月 14 日)



### イベント情報

入間小のケヤキを未来につなぐ会主催

### げやきの音楽会

人と木の物語  
～木の楽器のしらべ～

6/2 (日) 13:30～

(開場 13:00・終了 16:15)

入曽地域交流センター大ホール

大人 2,000 円

中高生 1,000 円

小学生以下 500 円

楽器になって新たに紡がれる  
樹木と人との深くて永い関係性  
音楽を通して考えてみませんか?

#### 第 1 部 人と木と楽器のはなし

#### 第 2 部 演奏の部

#### 狭山グリーン太鼓 (和太鼓)

狭山市笹井にて 2004 年発足。“ステージを楽しむ”事を目標に地元を中心に 7 歳から 50 代のメンバーが集まって発足した創作和太鼓集団。子供の部・大人の部の別部門で演奏していた会を 2023 年より一本化。主に市内近郊を中心に近隣市都県で演奏依頼やイベント出演多数。和太鼓や笛に少しでも興味のある方、演奏依頼・見学・メンバー募集中です。

#### 梅木秀徳 (ホーミー・馬頭琴など)

子どもの頃から憧れていたモンゴルに渡り、伝統楽器「馬頭琴」を手にした事をきっかけにモンゴルの音楽のとりこになる。現地のホーミー指導の第一人者バートル・オドスレン氏に師事。モンゴルホーミー協会より、日本人初のプロフェッショナルホーミー歌手の認定を受ける。(ホーミーとは、一人で二つの声を同時に出して歌う、モンゴルの伝統的歌唱法)

#### 宮林陽子 (バイオリン)・足立恭子 (ピアノ) デュオ アマーテ

〈宮林〉東京フィルハーモニー交響楽団在団後、渡独。北ドイツ放送管弦楽団等の楽員として活動。フランクフルト音楽大学で研鑽を積む。帰国後はフリーの演奏家として幅広く活動。  
〈足立〉ケルン音楽大学ヴッパータール校にて Harald Bojé 教授に師事。2 台ピアノやクラリネットとの演奏会を開催する。宮林とのデュオでは各地でサロンコンサートを開催。

※実際の演奏時間は約 1 時間半強です。プログラムはやむを得ず変更になる場合があります。

電話 (050-3635-1920) または会の公式サイトからご予約下さい。

定員に達した場合は当日券の販売は行いません。ご了承ください。

【直近のイベント情報】5/12 げやきの茶話会(入曽地域交流センター14 時から 16 時)▽5/19 まちなかフリーマーケット(所沢市下富アクアメイト所沢 10 時から 14 時、雨天中止)▽6/2 げやきの音楽会(入曽地域交流センター13 時半から) — イベントは随時 WEB サイトに掲載し、一部は瓦版や SNS でもご案内します。